

ToMMo

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ニュースレター

NEWS LETTER



vol.50

ダイバーシティ、という言葉が日本で市民権を得たのは、ここ数年でしょうか。多様な特性・状況などの方々が参画すること、また参画できる環境を整えることの重要性を謳う大切な概念です。ToMMoが目指す一人ひとりにあった医療・予防には、一人ひとりの違いがとて重要で、多様性を理解することが欠かせません。そして、私たちの活動を、一人ひとりが違う多様な集団である社会に届けていくことも大切です。今号で取り上げた早瀬 久美氏のセミナーの開催で改めて思いを新たにしています。

[Topics]

製薬協研究開発委員会の皆さまが来訪

11月7日(火)に日本製薬工業協会研究開発委員会から22名の皆さまがToMMoを来訪されました。ご来訪は、ToMMoの事業の進捗のみならず、東北大学星陵キャンパスにおける医療情報の利活用のあり方全体や、岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構(IMM)が進める東北メディカル・メガバンク計画の概要まで至る広範囲をカバーするものになりました。製薬協の皆さまからは、ToMMoで進められるデータ共有の仕組み全般や統合データベースdbTMM利用支援事業者登録制度について、IMMによるDNAメチル化解析などについて多数のご質問やコメントをいただき、日本のバイオバンク全体の利活用の将来像にも議論が及びました。



第3回ダイバーシティセミナー「目指した夢の向こう側」を開催

11月15日(水)、昭和大学病院 薬剤師 早瀬 久美 氏をお迎えし、「目指した夢の向こう側」をテーマにご講演いただきました。

講演では、ろう者である薬剤師としてのご自身の経験やこれまでの取り組みを交えながら、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)、東日本大震災での支援活動、スポーツファーマシストとしてまた選手としてのデフリンピックでの経験について話されました。その中で、アンコンシャス・バイアスに対して、「知る」「気づく」「行動する」「継続する」のサイクルを回して、自身の知識や行動力を高めることが大切だと強調されました。また、困っている人に対してどんな援助・支援が必要なのかを想像しながら、自分にできることを的確に伝えることも重要だと述べられました。ToMMoの教職員のみならず遠方から駆けつけた方やウェブを含め多くの参加があり、講演後には活発な質疑応答も行われました。本セミナーは、松崎 丈先生(宮城教育大学)をお迎えして手話について取り上げた1回目、陳 進志先生(あさひがおか眼科)によるロービジョンについて話していただいた2回目に続くシリーズの3回目として企画されました。



2023.10.13

東日本大震災後の宮城県沿岸部における 高血圧治療中断リスクに関する論文が掲載

東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査をもとにした解析の結果が *Hypertension Research* 誌に掲載されました。内陸部の住民で震災による自宅の被害が「損壊なし」の群に比べ、沿岸部住民で「損壊なし」「一部損壊」の群は治療中断のオッズ比が1.62、1.69と有意に高く、一方で、沿岸部で「半壊以上」の群のオッズ比は1.08で有意差はありませんでした。これは、甚大な被害を受けた方に向けた医療費免除等が影響していると考察しています。

Rieko Hatanaka *et al.* The Risk of Withdrawal from Hypertension Treatment in Coastal Areas after the Great East Japan Earthquake: the TMM CommCohort Study. *Hypertension Research* (2023)

2023.10.15, 10.21, 10.28

地域のイベントに相次いでブース出展



宮城県内の地域イベントに参加し、地元の方々との交流を行いました。10月15日(日)の第15回わくや産業祭&第12回食育推進大会(涌谷公民館)、同21日(土)の第16回大崎市健康と福祉のつどい(古川保健福祉プラザ)、同28日(土)のながまち交流フェスタ/じょさんしフェスタ2023(太白区中央市民センター/太白区文化センター)です。ブースでは、三世代コホート調査や地域住民コホート調査の概要と調査の進捗、結果を

ご紹介。調査結果の閲覧や健康情報の入力・閲覧ができるアプリ「マイToMMo」の紹介や日本人向けのゲノム開発ツール「ジャポニカアレイ®」の展示もしました。どの会場でもコホート参加者がいらしてくださり、直接お話をする貴重な機会となりました。

2023.10.23-26

情報計算化学生物(CBI)学会2023年大会が 開催、水野 聖士助教がExcellent Poster Awardを受賞

ToMMoの山本 雅之機構長、荻島 創一教授が大会長、実行委員長を務めた情報計算化学生物(CBI)学会の2023年大会が10月23日(月)~26日(木)に東京で開催されました。山本機構長の大会長講演「東北メディカル・メガバンク計画と個別化ヘルスケアの推進」や座長となったプレナリー講演「大規模データが切り拓く次世代ヘルスケア」、木下 賢吾副機構長、竇澤 篤教授、田宮 元教授による講演、荻島教授が座長の「ビッグデータと創薬」、長神 風二教授が座長の「次世代ヘルスケアの未来」などがあり、ゲノムを用いた医療を多様な参加者がさまざまな切り口で語る大会となりました。また、水野 聖士助教のポスター発表「Establishment of the Precise Early Prediction Models of Low-birth-weight for Term and Preterm Birth Groups Based on Genetic and Environmental Factors」がExcellent Poster Awardを受賞いたしました。

2023.10.31

地域住民コホート調査における抑うつ 症状と仮面高血圧に関する論文が掲載

家庭で測ると高血圧を示すものの、診察や検査で測ると正常範囲となるのが「仮面

高血圧」で、診察で見落とされやすいことが特徴です。抑うつ症状と仮面高血圧の関連を調べた結果、抑うつ症状のある人はない人に比べて、仮面高血圧の割合が高いことがわかりました。抑うつ症状のある場合には、家庭で血圧測定を行うことが仮面高血圧の早期発見、早期治療に有用である可能性が示唆されました。この論文は *Hypertension Research* 誌に掲載されました。

Sayuri Tokioka *et al.* The Association between Depressive Symptoms and Masked Hypertension in Participants with Normotension Measured at Research Center. *Hypertension Research* (2023)

2023.11.02

フィンランドよりオウル大学病院および ビジネスオウルの皆さまがToMMoを来訪



Miia Turpeinen 病院長をはじめとするオウル大学病院とビジネスオウルのご一行が11月2日(木)に来訪。デジタルヘルスなどの分野での産学官連携や、地域全体で多セクションが連携した取組などのご説明をいただきました。ToMMoからはコホート・バイオバンクを中心とした事業の説明をしました。その後、ToMMoの施設をご見学。特に遺伝情報回付の取組などに関心を寄せていただき、非常に印象的な訪問になったとお言葉をいただきました。

本紙の詳細はウェブをご覧ください ▶
www.megabank.tohoku.ac.jp/news



Editor's Note

おかげさまで本ニュースレターも50号を迎えました。冊子として発刊した当初からは相当な変遷を経ていますが、今号からいくつかの変更を加えています。レイアウトをよりすっきりとしたものにし、また、新たな方が記事の執筆陣にも加わりました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。(F.N)

\\ 配信中 /

メールマガジン「ToMMo News Mail」
forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA



\\ ご案内 /

地域とToMMoに基金
www.megabank.tohoku.ac.jp/kikin



ToMMo NEWS LETTER 2023年12月発行

発行 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
TEL 022-717-8078
E-mail tommo@pr.megabank.tohoku.ac.jp
www.megabank.tohoku.ac.jp

編集 長神 風二 編集協力 詫摩 雅子
デザイン 栗木 美穂
印刷 株式会社 佐々木印刷所
www.sasaki-print.com

© Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization.